

広報仕分けは子どもと一緒に(^ ▽ ^) /

R7年度中井子ども会・中井町内会

取り組み内容

- ・これまで町内会と連絡をとりながら、子ども会育成会役員(保護者)のみで毎月行っていた地域の広報配布物(36班550世帯分)の仕分けと配布方法を見直して、役員の子どもと一緒に取り組みやすいようにした。
- ・年間スケジュールを作成し、町内会との連絡も口頭だけでなく、マニュアル化して、地域の方に活動を理解して頂きやすくなるように工夫した。

	AFTER(見直し後)	BEFORE(見直し前)
活動日時	土日 8:00～	平日 19:00～
仕分け方法	イスを並べて順番に	机とイスで順不同
実施日	年間スケジュールを作成	毎月27日前後
参加メンバー	子ども会育成会役員+子ども	子ども会育成会役員のみ
活動時間	6月 60分 7月 40分	6月 90分 7月 60分



成果

《子ども会育成会役員(保護者)と子ども》



- ・子どもと保護者同士がコミュニケーションを取りながら協働することで、親睦が深まった。
- ・活動時間の短縮により、子ども会育成会役員の負担が軽減した。
- ・子どもたちが、地域活動に対する興味関心を高める機会になった。

☆高学年の子どもたちから、子ども会活動にもっと主体的に関わりたいたいという声が出て、実際ラジオ体操や地蔵盆の際に積極的に運営に参加してくれました☆



《町内会・地域の方》



- ・町内会や地域の方も直接仕分け場所に来られるようになり、その場で困りごとを解決出来るようになった。
- ・明るい時間に各班へ広報が届けられるようになったため、安全性が向上した。
- ・広報の配布に子どもが参加することにより、地域の方と顔見知りになる機会が出来た。

☆広報配布時に、地域の方から子どもたちにきゅうりを頂きました☆

協働の役割

- ・保護者のみで行っていた活動を、子どもと一緒に取り組めるように工夫したことで、子どもと保護者同士の親睦が深まり、地域活動に対する興味関心が高まった。
- ・地域の方とも情報を共有しながら交流することで、さらに地域全体の相互理解と安全な地域活動が推進されることが期待できる。



将来的には、子どもと保護者、地域の方がお互いを尊重しつつ、それぞれが役割を持って魅力的なまちづくりに関わっていけるような未来に繋がっていきたい。